🕌 ふわふわ大福店で学ぶPython継承完全ガイド

うさうさ店長と一緒に、継承を完全マスター!

▶ この記事について

こんにちは!ふわふわ大福店のうさうさ店長です 🐰

この記事では、Pythonの継承について、実際に動くコードと一緒に学んでいきます。

→ この記事で学べること

- 単一継承 (親 → 子)
- **™ 階層継承** (親 → 子 → 孫)
- **図 多重継承** (親A + 親B → 子)
- ✓ それぞれの使い分け

☞ 対象読者

- Pythonの基本文法は理解している
- クラスの基礎は知っている
- 継承をもっと深く理解したい

それでは、一緒に学んでいきましょう!

■ 目次

- 1. 継承とは何か
- 2. <u>単一継承 最もシンプルな形</u>
- 3. 階層継承 親から子、子から孫へ
- 4. 多重継承 複数の親から
- 5.3つの継承パターン比較
- 6. 実践:継承の使い分け
- 7. よくある質問

継承とは何か

__ 継承の定義

継承 = 既存のクラスの機能を引き継いで、新しいクラスを作ること

例えば、こんなイメージです:

基本の大福店(親) → プレミアム大福店(子)

親の機能:

- 在庫管理
- 販売処理
- 情報表示

子の機能:

- 親の機能すべて ← 継承!
- VIP会員管理 ← 新しく追加
- プレミアム販売 ← 新しく追加

◎ 継承の3つのパターン

Pythonには3種類の継承パターンがあります:

パターン	構造	図	推奨度
単一継承	親→子	$A \rightarrow B$	****
階層継承	親→子→孫	$\boxed{A \to B \to C}$	***
多重継承	親A,B → 子	$\boxed{A,B\toC}$	***
4	I		•

それぞれ詳しく見ていきましょう!

単一継承 - 最もシンプルな形

🔲 単一継承とは

単一継承=1つの親クラスから1つの子クラスへ

最もシンプルで、最も推奨される継承の形です。

■ コード例:基本店舗 → プレミアム店舗

ステップ1: 親クラスを作る

```
class DaifukuShop:
 """大福店の基本クラス(親クラス)"""
 def __init__(self, owner_name, stock):
   コンストラクタ
   引数:
    owner_name: 店長の名前
    stock: 初期在庫数
   #インスタンス変数の初期化
   self.owner_name = owner_name #店長名を保存
   self.stock = stock # 在庫数を保存
   self.sold = 0 #累計販売数を0で初期化
   print(f" # {self.owner_name}店長の基本店舗を開店")
 def sell(self, quantity):
   """大福を販売する"""
   # 在庫チェック
   if quantity > self.stock:
     print(f"× 在庫不足!")
     return False
   #在庫を減らす
   self.stock -= quantity
   self.sold += quantity
   print(f" 🎳 {quantity}個販売(残り: {self.stock}個)")
   return True
 def show_info(self):
   """店舗情報を表示"""
   print(f"\n{'='*50}")
   print(f" # {self.owner_name}店長の店")
   print(f" 	 在庫: {self.stock}個")
   print(f" 🎳 累計販売: {self.sold}個")
   print(f"{'='*50}\n")
```

ステップ2: 子クラスを作る(継承)

```
class PremiumDaifukuShop(DaifukuShop):
 プレミアム大福店(子クラス)
 DaifukuShopを継承 ← ここが継承のポイント!
 def __init__(self, owner_name, stock, vip_count):
   コンストラクタ
  引数:
    owner_name: 店長名
    stock: 初期在庫
    vip_count: VIP会員数(子クラス固有)
   #super()で親クラスのコンストラクタを呼ぶ
   # これで owner_name, stock, sold が初期化される
  super().__init__(owner_name, stock)
   #子クラス固有の変数
  self.vip_count = vip_count
  print(f" → プレミアム機能追加(VIP: {vip_count}名)")
 def sell_premium(self, quantity):
   プレミアム販売 (子クラス固有のメソッド)
   通常価格の1.5倍で販売
   #親クラスのsellメソッドを呼ぶ
  result = super().sell(quantity)
  if result:
    price = quantity * 225 \# 150 \times 1.5
    print(f" → プレミアム価格: ¥{price}")
   return result
 def show_info(self):
  情報表示(オーバーライド)
   親のメソッドを拡張してVIP情報を追加
   0.00
```

```
#親のshow_infoを呼ぶ
super().show_info()

#子クラス固有の情報を追加
print(f" W VIP会員: {self.vip_count}名")
print(f"{'='*50}\n")
```

ステップ3: 使ってみる

```
python #親クラスのインスタンス basic = DaifukuShop("うさうさ", 20) basic.sell(5) basic.show_info() #子クラスのインスタンス premium = PremiumDaifukuShop("もちもち", 30, 5) premium.sell(3) #親から継承 premium.sell_premium(2) #子クラス固有 premium.show_info() #オーバーライド
```

|| 単一継承の構造

```
DaifukuShop(親)
— owner_name
─ stock
— sold
├─ sell()
└── show_info()
 ↓継承
PremiumDaifukuShop(子)
── (親から継承)
├── owner_name
├── stock
--- sold
├─ (子クラス固有)
 ├─ vip_count
└─ show_info()(オーバーライド)
```

💡 単一継承のポイント

☑ 良い点

- シンプルで理解しやすい
- メソッド解決が明確
- デバッグしやすい
- 最も推奨される形

▲ 注意点

- (super().__init__())を忘れずに呼ぶ
- is-a関係が成り立つか確認
 - ○ 「プレミアム店は大福店である」
 - × 「車はエンジンである」

◎ 使うべき場面

- 基本機能を少し拡張したい
- シンプルに保ちたい
- 迷ったらまずこれ!

階層継承 - 親から子、子から孫へ

📖 階層継承とは

階層継承 = 継承が何世代にもわたって続く形

親 \rightarrow 子 \rightarrow 孫と、段階的に機能を追加していきます。

■ コード例:基本店舗 → プレミアム → VIP専門店

ステップ1: 孫クラスを作る

python			

```
class VIPDaifukuShop(PremiumDaifukuShop):
 VIP専門店(孫クラス)
 継承チェーン:
 DaifukuShop → PremiumDaifukuShop → VIPDaifukuShop
 def __init__(self, owner_name, stock, vip_count, concierge_count):
   コンストラクタ
   引数:
    owner name: 店長名
    stock: 初期在庫
    vip_count: VIP会員数
    concierge_count: コンシェルジュ数(孫クラス固有)
   #親(PremiumDaifukuShop)のコンストラクタを呼ぶ
   #これで祖父(DaifukuShop)も自動的に初期化される
   super().__init__(owner_name, stock, vip_count)
   #孫クラス固有の変数
   self.concierge_count = concierge_count
   print(f" w VIP専門店機能追加(コンシェルジュ: {concierge_count}名)")
 def sell_vip_exclusive(self, quantity):
   VIP限定販売(孫クラス固有のメソッド)
   超高級品:プレミアム価格の2倍
   # 親のsell_premiumを呼ぶ
   result = super().sell_premium(quantity)
   if result:
    price = quantity * 450 # 225\bowtie × 2
    print(f" w VIP限定価格: ¥{price}")
    print(f" 📞 コンシェルジュがお届け")
   return result
 def show_info(self):
   """情報表示(さらにオーバーライド)"""
   # 親のshow_infoを呼ぶ
```

ステップ2: 使ってみる

```
python
#孫クラスのインスタンス
vip = VIPDaifukuShop("ぴょんぴょん", 40, 10, 3)
#祖父クラスから継承
vip.sell(2)
#親クラスから継承
vip.sell_premium(3)
#孫クラス固有
vip.sell_vip_exclusive(1)
#すべての情報を表示
vip.show_info()
```

📊 階層継承の構造

№ 階層継承のポイント

☑ 良い点

- 段階的に機能を追加できる
- カテゴリー分けが明確
- 再利用性が高い

▲ 注意点

- **階層は2-3階層まで**が推奨
- ・ 深すぎると複雑になる
- [super()]の連鎖に注意

🗙 悪い例:深すぎる階層

```
python
# これは深すぎる(6階層)
class A:
    pass
class B(A):
    pass
class C(B):
    pass
class D(C):
    pass
class E(D):
    pass
class F(E): #深すぎる!
    pass
```

◎ 使うべき場面

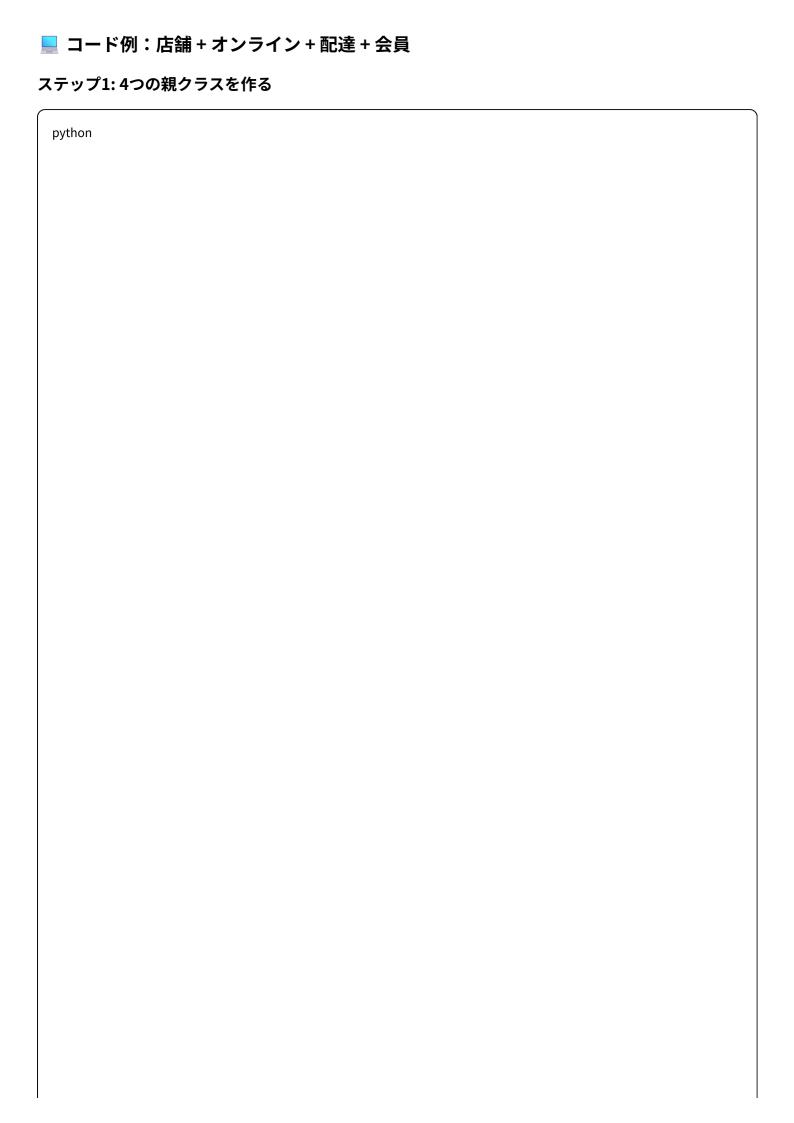
- 段階的に特化させたい
- カテゴリーが明確
- 2-3階層で収まる

多重継承 - 複数の親から

■ 多重継承とは

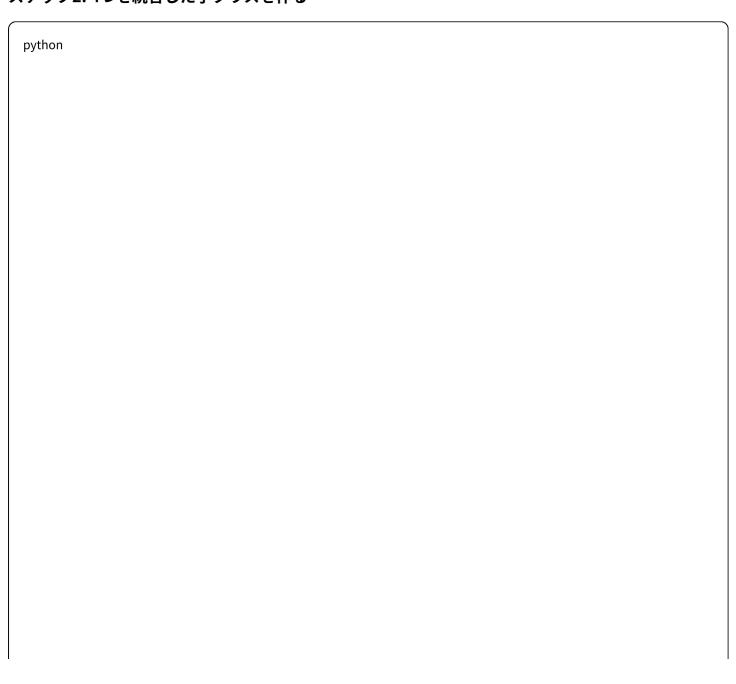
多重継承 = 複数の親クラスから同時に継承

異なる機能を持つ複数のクラスを組み合わせます。



```
# 親A: 店舗機能
class ShopBase:
 """基本的な店舗機能"""
 def init (self, owner name, stock):
   self.owner_name = owner_name
   self.stock = stock
   self.sold = 0
   def sell(self, quantity):
   """基本販売"""
   if quantity > self.stock:
    return False
   self.stock -= quantity
   self.sold += quantity
   print(f" 🌢 {quantity}個販売")
   return True
#親B:オンライン機能
class OnlineServiceMixin:
 """オンライン注文機能"""
 def ___init___(self):
   self.online_orders = 0
   def receive_online_order(self, customer, quantity):
   """オンライン注文受付"""
   self.online_orders += 1
   print(f" 顧客: {customer}様")
   print(f" 数量: {quantity}個")
#親C:配達機能
class DeliveryServiceMixin:
 """配達サービス機能"""
 def __init__(self):
   self.deliveries = 0
   print(f" = 配達機能: 起動")
 def deliver(self, address):
   """配達実行"""
```

ステップ2: 4つを統合した子クラスを作る



```
class HybridDaifukuShop(ShopBase, OnlineServiceMixin,
         DeliveryServiceMixin, MembershipServiceMixin):
 ハイブリッド店舗(多重継承)
 4つの親から機能を継承:
 - ShopBase (店舗)
 - OnlineServiceMixin (オンライン)
 - DeliveryServiceMixin(配達)
 - MembershipServiceMixin (会員)
 def __init__(self, owner_name, stock):
   コンストラクタ
   すべての親を初期化する必要がある
   print(f"\n{'='*60}")
   print(f" * ハイブリッド店舗を起動")
   print(f"{'='*60}")
   #各親クラスを初期化
   ShopBase.__init__(self, owner_name, stock)
   OnlineServiceMixin.__init__(self)
   DeliveryServiceMixin.__init__(self)
   MembershipServiceMixin.__init__(self)
   print(f" ✓ すべての機能が利用可能")
   print(f"{'='*60}\n")
 def process_order(self, customer, quantity, address):
   統合注文処理
   すべての親の機能を組み合わせて使う
   print(f"\n注文処理: {customer}様")
   #1. オンライン注文 (親B)
   self.receive_online_order(customer, quantity)
   # 2. 販売 (親A)
   if self.sell(quantity):
    #3.配達 (親C)
    self.deliver(address)
```

```
#4. 会員登録(親D)
if customer not in self.members:
    self.register_member(customer)

print(f" ☑ 注文完了\n")
else:
    print(f" ※ 注文失敗\n")
```

ステップ3: 使ってみる

| 多重継承の構造

🢡 多重継承のポイント

☑ 良い点

- 独立した機能を組み合わせられる
- コードの再利用性が高い
- ミックスインパターンに最適

▲ 注意点

- 複雑になりやすい
- MRO(メソッド解決順序)を理解する必要
- ダイヤモンド継承に注意
- すべての親を初期化する

◎ 使うべき場面

- 独立した複数の機能が必要
- ミックスインパターン
- 機能の組み合わせ

🗙 使うべきでない場面

- 関連が深すぎる親同士
- 5つ以上の親から継承
- シンプルな拡張で済む場合

3つの継承パターン比較

■ 一覧比較表

項目	単一継承	階層継承	多重継承
構造	親→子	親→子→孫	親A,B,C →子
親の数	1つ	1つずつ	複数
階層の深さ	2階層	3階層以上	2階層
複雑さ	★ 簡単	★ ★ 中程度	★★★ 複雑
推奨度	****	***	***
使用頻度	90%	9%	1%
◀			•

🎯 視覚的な違い

【単一継承】

親

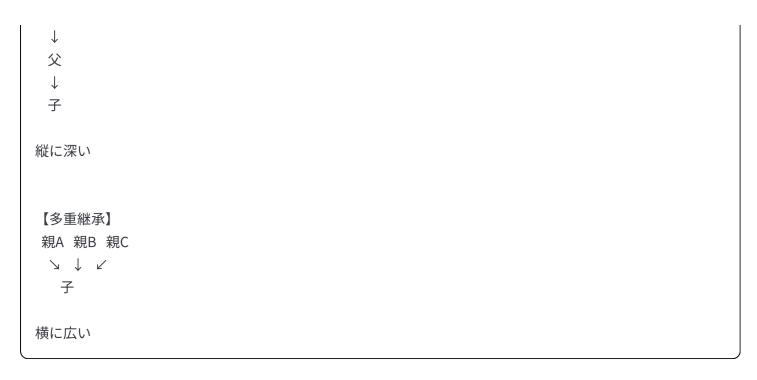
 \downarrow

子

シンプル・明確

【階層継承】

祖父



♀ 使い分けフローチャート

```
Q: どの継承を使うべき?

| → 基本機能を少し拡張したい?
| → YES → 単一継承
| → 段階的に機能を追加したい?
| → YES → 階層継承(2-3階層まで)
| → 複数の独立した機能を組み合わせたい?
| → YES → 多重継承(慎重に)
```

実践:継承の使い分け

☑ 単一継承を使うべき場面

```
# 良い例1: シンプルな拡張

class User:
    pass

class AdminUser(User): #管理者はユーザーである
    pass

# 良い例2: 機能の追加

class Document:
    pass

class PDFDocument(Document): # PDF文書は文書である
    pass
```

☑ 階層継承を使うべき場面

```
# 良い例: 段階的な特化
class Employee: # 従業員
pass
class Manager(Employee): # マネージャーは従業員である
pass
class Director(Manager): # 役員はマネージャーである
pass
```

💟 多重継承を使うべき場面

```
# 良い例: 独立した機能の組み合わせ

class Saveable: # 保存機能
    pass

class Printable: # 印刷機能
    pass

class Shareable: # 共有機能
    pass

class Document(Saveable, Printable, Shareable):
    # 文書は保存・印刷・共有ができる
    pass
```

🗙 避けるべき使い方

```
python
#悪い例1: 深すぎる階層
class A:
 pass
class B(A):
 pass
class C(B):
 pass
class D(C):
 pass
class E(D):
 pass #5階層は深すぎる
#悪い例2:無意味な多重継承
class Person(Animal, Vehicle): #人は動物で乗り物?
 pass #意味不明
#悪い例3: is-a関係が成り立たない
class Car(Engine): #車はエンジンである?
 pass # 間違い! 車はエンジンを「持つ」
```

よくある質問

Q1: どれを使えばいいか迷ったら?

A: まず単一継承から始めましょう

90%のケースは単一継承で十分です。

```
python

#迷ったらこれ
class Parent:
 pass

class Child(Parent):
 pass
```

Q2: super()って何?

A: 親クラスのメソッドを呼び出す関数

```
relation python

class Parent:
    def __init__(self, name):
    self.name = name

class Child(Parent):
    def __init__(self, name, age):
    super().__init__(name) #親の__init__を呼ぶ
    self.age = age
```

Q3: オーバーライドとは?

A: 親クラスのメソッドを子クラスで上書きすること

```
python

class Parent:
  def greet(self):
    print("こんにちは")

class Child(Parent):
  def greet(self): #オーバーライド
  print("Hello!")
```

Q4: 階層継承は何階層まで?

A: 2-3階層まで(最大4階層)

```
python
```

```
# 屋 良い
class A:
    pass
class B(A):
    pass
class C(B): # 3階層のK
    pass

# ※悪い
class D(C):
    pass
class E(D):
    pass
```

Q5: 多重継承の注意点は?

A: MROとダイヤモンド問題

```
python
#ダイヤモンド継承
class A:
  def method(self):
    print("A")
class B(A):
  def method(self):
    print("B")
class C(A):
  def method(self):
    print("C")
class D(B, C): #どっちのmethodが呼ばれる?
  pass
# MROで確認
print(D.__mro__)
#D \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow A の順番
```

まとめ

- ◎ 重要ポイント3つ
- 🚺 継承の種類

構造	推奨度
親→子	****
親→子→孫	***
親A,B→子	***
	親→子 孫

2 選択の基準

シンプルに拡張 → 単一継承 段階的に特化 → 階層継承 機能を組み合わせ → 多重継承

3 黄金律

- 1. まず単一継承を考える
- 2. 階層は浅く(2-3階層)
- 3. 多重継承は慎重に
- 4. 迷ったらコンポジション
- 5. is-a関係を確認

山 学習のステップ

Week 1: 単一継承をマスター

□親ク	フス	へを ′	作化	しる

- ■子クラスで継承できる
- super()を使える
- □メソッドをオーバーライドできる

Week 2: 階層継承を理解

- ■3階層の継承を作れる
- [super()]の連鎖を理解
- □適切な階層の深さを判断できる

Week 3: 多重継承に挑戦

- ■ミックスインパターンを理解
- ■MROを理解
- 複数の親を初期化できる

┈ うさうさ店長からのメッセージ

みなさん、お疲れ様でした!

継承は最初は難しく感じるかもしれませんが、一歩ずつ進めば必ず理解できます。

初心者の方へ

まずは**単一継承**だけで十分です。 親から子への単純な拡張を練習しましょう。